

富山大学人文学部令和4年度卒業論文

ジェンダーレス男子とは何か

—ジェンダー意識と「かわいい」という価値観に注目して—

富山大学人文学部人文学科
社会文化コース社会学分野
学籍番号 11910133
氏名 冬瓜柚希

目次

第1章 問題関心	4
第2章 基礎疑念と先行研究	5
第1節 ジェンダーレス男子とは	5
第2節 ジェンダーレス男子の特徴	5
第3節 先行研究のまとめと疑問点	6
第3章 調査概要	7
第1節 調査対象者	7
第2節 分析方法	8
第4章 ジェンダーレス男子とメイク・ファッション	9
第1節 ジェンダーレス男子のメイク	9
第1項 こんどうようぢ	10
第2項 とまん	11
第3項 りゅうちえる	12
第4項 3人のメイクの共通点	13
第2節 ジェンダーレス男子のファッション	14
第1項 スカートの着こなし方	15
第2項 露出の多い服の着こなし方	16
第3節 ジェンダーレス男子のメイクとファッションの工夫	18
第5章 ジェンダーレス男子と「かわいい」	19
第1節 「かわいい」に関する先行研究	19
第1項 「かわいい」の持つ意味	19
第2項 少女的な「かわいい」	20
第3項 子ども的な「かわいい」	21
第4項 「かわいい」の複雑性	21
第2節 「かわいい」ジェンダーレス男子	22
第1項 分析方法	22
第2項 「天使」「赤ちゃん」という表現と「かわいい」	22
第3項 髪型と「かわいい」	24
第3節 なぜジェンダーレス男子は「かわいい」のか	28
第6章 考察	30
第1節 ジェンダーレス男子のジェンダー意識	30
第2節 ジェンダーレス男子と「かわいい」の関係	31
第1項 「かわいい」という価値観	31
第2項 「自分らしさ」と「ジェンダーレス男子」という呼称	32

参考文献.....	34
参考 URL.....	34
図版出典、投稿内容・コメント欄の引用元.....	35

第1章 問題関心

2015 年頃からメディアで多く取り上げられるようになった「ジェンダーレス男子」は、その性別の枠を超えた中性的なファッションと美容への強い関心から、これまでたびたび話題に上がってきた。彼らは男性服だけではなく女性服をも着こなし、普段からメイクをするなどの美意識の高さから、主に若い女性からの支持を集めるインフルエンサーとしても注目されている。

ジェンダーレス男子は意図的に異性のジェンダーを獲得しようとしているのではなく、自分らしさという個性を表現するためにこのような装いを選んでいるとされているが（小川 2017）、この「自分らしさ」とは一体どんな意味を持っているのだろうか。また、一般的な男性とは異なる装いであるにもかかわらず、主に若い女性を中心とした多くの人々からの支持を集める彼らは、世間一般の人々からどのように評価・認識されているのだろうか。

本稿では、ジェンダーレス男子がどのような考えで美容やファッションを楽しんでいるのか、また彼らのジェンダーレスファッションや行動は人々からどう見られているのか、彼らの SNS 等の投稿内容とそれらに寄せられたコメント欄の分析を通して明らかにする。

第2章 基礎概念と先行研究

第1節 ジェンダーレス男子とは

ジェンダーレス男子とは、従来の性規範にとらわれないファッションで自己を表現する男性の総称である。一般に、美容に関心が高い、レディースの服装も着用する、ネイルアートを施すなど、服飾において女性的とされる特徴を取り入れている人を指す。性的指向とは関係がない。ジェンダーレス男子は、2015年頃からメディアで多く取り上げられるようになり、広く認知されるようになった。ジェンダーレス男子として著名な人物に、こんどうようち、とまん、りゅうちえるなどがいる。いずれもSNSの発信を積極的に行っており、インフルエンサーとしても注目されている。

第2節 ジェンダーレス男子の特徴

小川（2017）によると、ジェンダーレス男子の“ジェンダーレス”とは、「男らしさ」「女らしさ」などの社会的役割の差を示すジェンダーを取り払った、男女の境界線のない中性的なという考え方である。小川（2017）は、この定義をもとにジェンダーレス男子の特徴として「コーディネートによって男性服・女性服ともに着こなすファッションスタイルを持つ」、「女性のおしゃれとされてきたメイクやネイルを日常的に行うなど、性意識にとらわれず美意識が強い」、「今まで男性ジェンダーの特徴とされてきた筋肉質で逞しい体とは対照的な華奢な体型をしているため、女性服をも着こなせる」の三つを挙げている。小川（2017）は、ジェンダーレス男子の特徴で共通しているのは、一見ではかなり女性らしい感じを受けるが男性であることがすぐわかることであると述べている。その理由として、彼らがコーディネートでは過度に女性的になることを意識的に避けているということを挙げている。彼らの場合、女性服を着たとしてもジェンダーを超えることはなく、程よい距離感でファッションを楽しみ、彼らなりの美しさを表現しているのだとしている。

また、小川（2017）はジェンダーレス男子のファッションについて、“オネエ”や“女装子（じょそこ）”と呼ばれるトランスジェンダーの人々が、衣服によって異性のジェンダーを獲得しようと試みているのに対し、ジェンダーレス男子は意図的に異性のジェンダーを獲得しようとしているのではなく、自分らしさという個性を表現するためにこのような装いを選んでいるのだと述べている。異性装を行った場合、異性のジェンダーを獲得しようとしても、かえって自身のジェンダーを強調することになっていたのに対し、ジェンダーレス男子は細身の体やメイクも手伝って異性装を行っているにも関わらず、元の性を強調することなく装えていることが特徴的であるとしている。その理由として、彼らがジェンダーをうまくコントロールし、個性の表現として装えていることを挙げている。

第3節 先行研究のまとめと疑問点

小川（2017）は、自身の研究の調査対象者であるこんどうようちととまんの2人の装い方に注目しながら、ジェンダーレス男子について上記の特徴を挙げたうえで装い方の具体例として、彼らは「スカート、胸元の開いた服、ウエストを絞った服、露出の多い服、ハイヒールパンプス、濃いメイク、華奢なアクセサリ」といった女性性の強いファッションアイテムを身につけておらず、メイクはしていたとしても薄めであると述べている。このような彼らの装い方から、彼らはジェンダーを意識していないように見えて実は男女の二項対立としてのジェンダー規範からは逸脱していないとし、彼らが男性であるとすぐにわかるのはこのためであるとしている。そのうえで、彼らは女性ジェンダーを獲得するための装いをしているにすぎないと指摘し、コーディネートのをすべてを女性もので着ることはないという点が、彼らがジェンダーに囚われている証拠であると述べている。

このように、小川（2017）はジェンダーレス男子の装い方におけるジェンダー意識について述べているが、第2節で触れた「ジェンダーレス男子は意図的に異性のジェンダーを獲得しようとしているのではなく、自分らしさという個性を表現するためにこのような装いを選んでいる」という点に関しても、この「自分らしさ」という部分も結局はジェンダー意識の表れであるとしてまとめている。その根拠として、小川（2017）は調査対象者となっていた2人の「自分が思っかっこいい生き方であることが自分なりの男らしさ」というコメントを例に挙げている。つまり、ここでいう「自分らしさ」とは、本来のジェンダーレスの意味である性別という概念からの自由ではなく、性別という概念に縛られた中で自由を意味しているといえる。しかし、これほどまでにファッションとメイクを自由に楽しむ彼らが、本当にジェンダーに縛られているといえるのだろうか。そもそも、彼らが自身の見せ方においてジェンダーを強く意識しているのならば、女性服を好んで着ることなどしないのではないだろうか。

そこで、本研究では先行研究と同じくジェンダーレス男子のファッションに注目することに加え、あまり詳しい調査のなかった彼らのメイクと、彼らのファンを含む周囲の人々の彼らに対する反応にも注目した調査を行う。これらの調査を通じて、彼らの実態を明らかにするだけでなく、彼らのいう「自分らしさ」とは具体的にどういったことなのか、また、彼らは本当にジェンダーに縛られているのかについても明らかにする。

第3章 調査概要

本研究では、ジェンダーレス男子として著名な人物の Instagram・Twitter 等の SNS、YouTube、ブログ、ウェブサイトに掲載されているインタビュー等の中から、動画と写真で視覚的に分析ができること、コメント欄があることで彼らのファンを含む受け手側の分析ができることの2点を満たしているインスタグラムと YouTube に焦点を当て、彼らの容姿、ファッション、メイクの特徴を探り、ファッションや美容に対する考え方・目的などの共通点や相違点を挙げ比較することで、彼らの実態について調査する。また、彼らのインスタグラムと YouTube に寄せられたコメント内容にも注目し、彼らが自身のファンや周囲の人々からどのように見られているのか、どう表現されているのかについてもあわせて調査する。

第1節 調査対象者

調査対象者は、Weblio 辞書で著名なジェンダーレス男子の例として挙げられていた「こんどうようち」、「とまん」、「りゅうちえる」に加え、同じくジェンダーレス男子として注目されている「ゆうたろう」の4人である。いずれもインスタグラムとツイッターに公式アカウントを持ち、先に述べた3人は YouTube に個人の公式チャンネルを持っている。以下が調査対象者4人のプロフィールである。

りゅうちえる (ryuchell)

27 歳男性。高校卒業後に上京し、原宿でショップ店員をするかたわら読者モデルとして活躍。その後、テレビのバラエティ番組出演をきっかけに、人気を集める。一児の父となった現在は、育児やダイバーシティに関する発信が注目を集めている。2021 年 11 月 10 日に芸名を「ryuchell」に変更した。

こんどうようち

30 歳男性。高校生の頃、ブログに投稿していた自撮りやコーディネートが大きな話題となり、2011 年に上京後、原宿系の人気読者モデルとなった。現在もモデルの活動を続けており、舞台俳優としても活動している。

とまん

29 歳男性。高校卒業後シドニーに留学し、帰国後に知名度を上げるため仙台でショップ店員として働く。その後オーディションを受けて上京し、読者モデルとなった。現在はモデルだけでなく、俳優としても活動している。

ゆうたろう

24 歳男性。2016 年にショップ店員から“可愛すぎる美少年”モデルとして芸能界に入る。

2017 年からはドラマや舞台で精力的に俳優活動を行っており、若手個性派俳優として活躍している。

第 2 節 分析方法

本調査では、調査対象者のメイクとファッションの二つに重点を置いて調査し、メイクの分析については YouTube、ファッションの分析については Instagram を使用する。メイクに関して YouTube を選んだ理由は、メイクの仕方や流れ、使用しているものなどを、本人たちからの説明を聞きながら視覚的にも聴覚的にも深く理解できることに加え、コメント欄から彼らの視聴者の意見も知ることができると考えたためである。ファッションに関して Instagram を選んだ理由は、Instagram は写真がメインかつ彼らの主な支持層である若い女性の多くが使用している SNS であるということに加え、写真・動画とともに添えられる投稿文とコメント欄から本人の考えや周りの人々からの意見を知ることができ、ファッションを客観的な視点で分析できると考えたためである。

第4章 ジェンダーレス男子とメイク・ファッション

第1節 ジェンダーレス男子のメイク

この節では、ジェンダーレス男子が日常的に行っているメイクについて分析する。YouTube に個人の公式チャンネルを持っている、こんどうようぢ、とまん、りゅうちえるの3人の公式 YouTube チャンネルから、普段のメイクをしている動画と女装メイクをしている動画をそれぞれ一つずつ視聴し、それぞれのメイクの工程と使用している化粧品の特徴、動画内での発言を比較することで、彼らが普段どのようなメイクをしているのか分析する。普段のメイクと女装メイクの両方を取り上げて比較する理由については、小川（2017）によると「ジェンダーレス男子のメイクはかなり薄めである」とのことから、反対にメイクが濃くなると考えられる女性を意識したメイクと比較することで、彼らの普段のメイクにおいて意識していることがより明確になると考えたためである。ゆうたろうに関しては、個人の公式チャンネルを持っておらず自身の普段のメイクに関する動画が見られないため、この調査の対象からは除外する。

第1項 こんどうようち



図4－1 こんどうようちの
普段のメイク

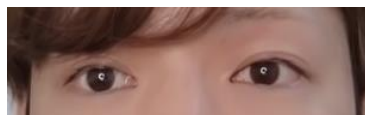


図4－2 こんどうようち
の普段のメイク前の目元

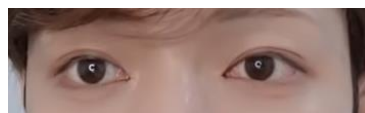


図4－3 こんどうようち
の普段のメイク後の目元



図4－4 こんどうようちの
女装メイク

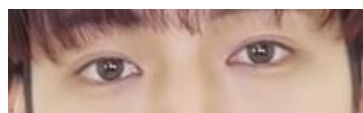


図4－5 こんどうようち
の女装メイク前の目元

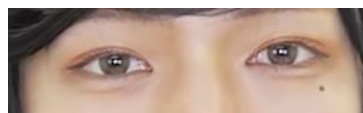


図4－6 こんどうようちの
女装メイク後の目元

上段がこんどうようちの普段のメイク（図4－1）で、下段が女装メイク（図4－4）である。まず目元に注目すると、涙袋を強調している点は共通しているが、図4－3ではラメのないナチュラルなブラウンのアイシャドウを薄めに塗っているのに対し、図4－6ではラメのあるオレンジのアイシャドウを塗っている。加えて、図4－3では使用していないビューラーを使用することで、図4－6ではまつげが上がっており、アイラインも後者のほうが長く目立つようになっている。また、図4－6ではあえて涙ぼくろを描くことでかわいらしさを強調しているように見える。リップの付け方や色味に関しては、図4－1では暗い赤色のリップを唇の内側を中心に塗っているが、図4－4では明るい赤色のリップを唇の全体に塗っており、前者よりもツヤが目立って女性らしい印象になっている。

また、こんどうようちの女装メイクの動画のコメント欄には、「いつものメイクは手際がいいのに女装メイクになったらあたふたしてる（2018/7/13 のこんどうようちの動画へのコメント）」といったコメントが見られた。このコメントの通り、女装メイクの動画内では、普段とは異なるメイクの仕方に戸惑う様子や、どうしたらメイクで男性らしい骨格を隠すことができるのか悩んでいる姿が見られた。

第2項 とまん



図4－7 とまんの普段のメイク

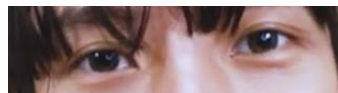


図4－8 とまんの普段の
メイク前の目元



図4－9 とまんの普段の
メイク後の目元



図4－10 とまんの女装メイク



図4－11 とまんの女
装メイク前の目元

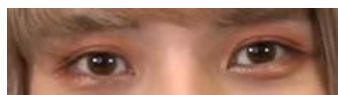


図4－12 とまんの女装
メイク後の目元

上段がとまんの普段のメイク（図4－7）で、下段が女装メイク（図4－10）である。まず目元に注目すると、図4－9ではラメのないオレンジのアイシャドウの1色のみを塗っているが、図4－12ではラメのあるアイシャドウやピンクのアイシャドウなど複数の種類を使い、塗り重ねることで濃くしている。加えて、わかりにくい図4－12ではビューラーを使うことでまつげが若干上がっている分、使っていなかった図4－9よりも少し目がぱっちりとして見える。総じて、図4－12のほうが目元が派手な印象になっている。また、図4－7は図4－10では使っていないチークを使っているため、ピンクのアイシャドウやリップと合わさることで、全体的に血色感が感じられるメイクになっている。

とまんは、女装メイクの動画の冒頭で「普段が結構中性的なことがあるからなのか、初めて会う方とかに普段から女装してるの？って言われることがあるんだけど、全く自分では女の子になりたいくてメイクをしているわけでもなくって、女性メイクっていうものもわからないんですけど、今日は1人でチャレンジしていきたいと思います」と発言しており、動画の最後にも「初めて自分で（女装）やってみたんですけど、結構時間かかるなって思いました。シンプルに女の子のメイクをするのに」と発言していることから、とまんは、普段のメイクにおいて女性のメイクを意識しておらず、女装メイクは普段のメイクとは全くの別物であると認識しているということがわかる。また、メイクの途中で「いつもは自分になるべく大人っぽくかっこよくメイクしたいっていう願望があって」と発言していることから、その様子が窺える。

第3項 りゅうちえる



図4－13 りゅうちえるの普段のメイク



図4－16 りゅうちえるの女装メイク



図4－14 りゅうちえるの普段のメイク前の目元

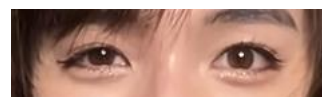


図4－15 りゅうちえるの普段のメイク後の目元



図4－17 りゅうちえるの女装メイク前の目元



図4－18 りゅうちえるの女装メイク後の目元

上段がりゅうちえるの普段のメイク（図4－13）で、下段が女装メイク（図4－16）である。明らかに図4－13に比べて図4－16の方が濃いメイクであるという印象を受ける。まず目元に注目すると、図4－15ではアイシャドウに肌馴染みのよいブラウンを薄く塗っているのに対し、図4－18では色味の目立つピンクを塗っている。加えて、図4－18では下まつげを描き足すという工程を加えたり、アイラインを長く太めに引いたり、図4－15のときよりも広い範囲にラメの入ったアイシャドウを塗ったりなど、図4－15のときよりも目元を目立たせたいという意識が窺える。使っているリップも、図4－13ではナチュラルなピンクを塗っているのに対し、図4－16では濃く派手なピンクを塗っている。また、図4－13では使用していなかったチークを図4－16では使っていることから、全体的に血色感の感じられるメイクとなっている。

第4項 3人のメイクの共通点

3人の女装メイクの共通点として、1. アイシャドウにオレンジやピンクなど派手な色を使用している、2. アイシャドウにラメを使用している、3. チークを使用している、4. まつげを上げている、5. リップの赤みが目立つ、6. 自分のメイクが濃いと動画内で発言しているの6つが挙げられる。6に関しては、3人がそれぞれメイク中に自分の女装メイクをした顔を見て「メイクが濃い」という趣旨の発言をしたためである。また、こんどうようちととまんの2人に関しては、普段のメイクと女装メイクの方法が大きく異なることに戸惑う様子や、メイクで男性らしい骨格を隠そうという意識が共通して見られた。

最近では男性用コスメ市場も拡大しつつあるため、一般的な男性の中にもメイクをしている人は少なからず見られるが、その目的はあくまで「清潔感を印象付けること」である場合が多く、肌をきれいに見せる肌色付きクリーム等の使用は比較的多く見られるものの、色味のあるアイシャドウや色付きリップといったものを使用している人はごくわずかだろう。それに対し、彼ら3人は普段から茶色やオレンジといった色味のあるアイシャドウや、赤やピンクのリップなどを使用して「自身をより魅力的に見せるためのメイク」をしているため、一般的な男性と比較すると濃いメイクをしているように感じられる。一方、彼らの女装メイクを見てみると、普段のメイクでは使用していなかった派手なアイシャドウやリップ、チークやビューラーを使用していることや、自身で「メイクが濃い」と発言していることなどから、普段よりも明らかに濃いメイクをしよう意識して女装メイクをしていることがわかる。その結果、小川(2017)で述べられているようにかえって自身の男性性が強調されてしまい、本人たち自身も違和感を持ってしまうといった現象が起こっている。しかし、彼らの普段のメイクからはこのようなジェンダー的な違和感は生まれておらず、そのうえ女装メイクよりも少ない工程とアイテムでメイクをしていることから、彼らのメイクは女装メイクとは大きく異なるものであるといえる。

これらのことから、ジェンダーレス男子は普段からメイクをしているものの、決して女性性を意識したメイクを日常的にしているわけではなく、顔のパーツをよりよく見せたい、自身の着たい服に見た目を合わせたいなどといった目的を持って、自分をより魅力的に見せるためのナチュラルメイクをしているのだと明らかになった。

第2節 ジェンダーレス男子のファッション

この章では、男性服と女性服の両方を着こなすジェンダーレス男子の特徴的なファッションについて分析する。調査対象者4人の公式 Instagram のアカウント内の投稿の中から、女性性の強いファッションアイテムを使用している投稿を複数取り上げ、彼らがどのようにしてそれらをジェンダーレスファッションとして成り立たせているのか、投稿文と投稿に寄せられたコメントにも注目しながら分析する。各対象者の Instagram において、調査の対象となった投稿の範囲は以下の表のとおりである。

調査対象者	調査対象となった Instagram の投稿の範囲	調査開始日
こんどうようぢ	2021/6/3～2022/11/28	2022/3/29
とまん	2021/4/11～2022/11/6 現時点（2022/12/15）で削除されている 2021/10/13 の投稿に関しては、2022/4/13 時点で記録したものを調査に使用した。	2022/4/4
ゆうたろう	2021/7/6～2022/11/22	2022/4/4
りゅうちえる	2020/11/5～2022/11/28 現時点（2022/12/15）で削除されている投稿に関しては、2021/7/14、8/1 の投稿は 2022/10/21 時点、2021/9/21 の投稿は 2022/7/4 時点、2021/10/10、21、28、11/17 の投稿は 2022/6/30 時点、2021/11/21、12/10、16、2022/2/12、23、3/1 の投稿は 2022/4/6 時点で記録したものを調査に使用した。	2022/4/5

また、女性性の強いファッションアイテムに関しては、小川（2017）で例として挙げられている「スカート、胸元の開いた服、ウエストを絞った服、露出の多い服、ハイヒールパンプス、濃いメイク、華奢なアクセサリ」といったアイテムを基準とし、その中でも特に女性性が強いという印象をもたれやすい「スカート」と「露出の多い服」の2つに注目して分析を行う。

第1項 スカートの着こなし方

調査対象者4人の中で、女装やコスプレ以外でスカートを着用している投稿が見られたのは、とまんとゆうたろうの2人であった。右図がその写真である。

とまん(図4-19)は、黒いロングスカートに黄緑色のTシャツとシャツを重ね着し、ハイヒールのブーツを身に着けている。投稿文に「私服の日」との記載があることから、これらのアイテムはどれも彼の私服であることがわかる。スカートとハイヒールはどちらも女性性の強いアイテムであるが、スカートの丈が長いと脚が露出しておらず、またトップスも丈の長いシャツを合わせることで体のシルエットがわかりにくくなっているため、それほど女性らしい印象は受けにくいように見える。加えて、スカートの色がピンクや白といったかわいらしい印象を受ける色ではなく黒であることや、ハイヒールが華奢なものではなく大きくどつめのものを使用しているのも、女性性が抑えられている理由であると考えられる。

一方、ゆうたろう(図4-20)は、黒のロングプリーツスカートに赤いニット、スニーカーを身に着けている。投稿内容には自身がファッション誌の表紙を務めたとの記載があるため、これらのアイテムが彼の私服であるかどうかは定かではない。スカートが黒の丈の長いものという点は、とまんと共通している。足首が露出している点とはとまんとは異なるが、それほど広範囲ではないため特に女性性は強く感じられない。トップスのニットは横にゆったりと広がっているため、体のシルエットがわかりにくく、男性の特徴である骨ばった肩も目立たなくなっている。この体のシルエットがわかりにくいという点も、2人の共通点である。

2人のスカートを着用したファッションを比較したところ、黒色のロングスカートを着用している点、体のシルエットがわかりにくいという点が共通して見られた。スカートは長いものを着用し、足を過度に露出しないこと、派手な色を使用しないことで女性性が強くなり、ジェンダーレスファッションとして成り立っているといえる。それに加え、トップスにゆったりとしたものを合わせることで、腰のくびれや骨ばった肩といった身体的特徴がわかりにくくなっている点も、女性性の抑止につながっているのではないかとはいえる。また、とまんとゆうたろうは両者とも一般的な男性に比べると身長が低く、体も華奢であるうえに髪型も短髪ではないため、女性服としての印象が強いスカートを着用したとしても、異性装者のようにかえって自身のジェンダーが露呈するといったことが起こらないのである。



図4-19 スカートを着用しているとまん



図4-20 スカートを着用しているゆうたろう

第2項 露出の多い服の着こなし方

調査対象者4人の投稿には、いずれも肌を露出したファッションが見られた。脚や腕、胸元やお腹など、4人それぞれ露出している部分について共通点と相違点の両方が見られたため、露出している部分別に順に彼らの投稿を見ていく。

まず、右図のように4人の共通点として膝上までのパンツを着用している投稿が見られた。一般的な男性も短パンを履くことは珍しくないが、膝上までの短いものを履く機会は多くないだろう。また、一般的な男性の場合は脚を露出すると体毛が目立つが、4人とも脚に体毛はなく美容に強い関心を持っているというジェンダーレス男子の特徴とも一致する。実際、ゆうたろう(図4-23)の投稿のコメント欄には

めちゃくちゃかっこよすぎて、、、そして脚ほっそ、きれい、

脚が綺麗💕💕

(2022/2/13のゆうたろうの投稿へのコメント)

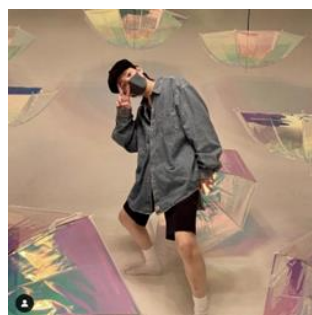


図4-21 短パンを着用しているこんどうようぢ



図4-22 短パンを着用しているとまん



図4-23 短パンを着用しているゆうたろう

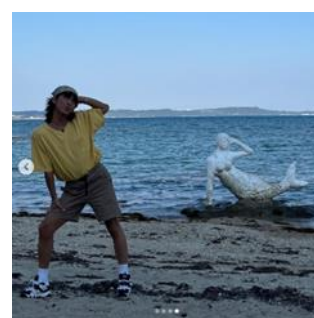


図4-24 短パンを着用しているりゅうちえる

といったコメントが複数見られた。一方で、とまん(図4-22)の投稿のコメント欄には、

割と足、たくましいのね👀 (2021/5/2のとまんの投稿へのコメント)

といったコメントが見られ、きれいではあるが筋肉や骨のごつごつした感じから男性性があらわになっているといえる。他2人の投稿には脚に注目したコメントは見られなかった。

次に共通点が見られたのは、こんどうようぢととまんの2人である。両者ともシースルーシャツを着用しており、下には白いタンクトップを着用しているため腕の部分が透けている。シースルーシャツは主にタンクトップなどの腕の部分が露出する服に重ねて着用する場合が多く、一般的な男性がこのようなシャツを着用している場面はあまり見かけない。腕や腰のラインが透けて見えるため、体毛や筋肉が目立つと違和感が生まれてしまうと思われるが、2人とも華奢な体型をしているのに加えて体毛も目立たないため、こんどうようぢ

(図4-25)の投稿のコメント欄には

お洋服ようちくん似合ってて可愛い♡♡

(2022/9/3のこんどうようちの投稿へのコメント)

といったように、シースルーシャツが似合うといったコメントが複数見られた。とまん(図4-26)の投稿にはそのようなコメントは見られなかったものの、髪型やメイク、アクセサリからどこか女性性が感じられるような装いになっており、肌が透けていたとしても違和感のないコーディネートになっている。



図4-25 シースルーシャツを着用しているこんどうようち



図4-26 シースルーシャツを着用しているとまん

次に、とまんとりゅうちえるの2人に見られた、それぞれの特徴的なファッションについて見ていく。まず、4人の中でとまんにのみ胸元の開いた服を着用した投稿が見られた。Vネックなど男性服でも鎖骨あたりが見えるような服はあるが、彼はシャツのボタンを開けることで胸のあたりまで開いている。彼自身が身長が163cmであるのに対して体重が39kgと非常に華奢な体型をしていることに加え、髪型もピンク色で柔らかい印象があるため、華奢なアクセサリとも合わさって不自然さのないジェンダーレスファッションになっている。



図4-27 胸元の開いた服を着用しているとまん

一方、りゅうちえるは4人の中で彼のみお腹を出した服を着用した投稿が見られた。くびれのある腰や華奢な体に、肩に付くくらいの長さの髪型からは、女性性が感じられる。一般的な男性がこのような服を着用した場合、肩幅の広さやごつごつと骨ばった体との相性の悪さから、違和感が生まれてしまう。それに対し、彼の投稿のコメント欄には

お洋服似合っててとっても可愛い！そして超理想的なスタイル…さすがです♡♡

スタイル良くてかっこいいです💎💎

(2022/10/16のりゅうちえるの投稿へのコメント)



図4-28 お腹を出した服を着用しているりゅうちえる

など、彼のファッションやスタイルの良さを称賛するコメントが非常に多く見られたことから、女性性の強いこの服を上手く自身のファッションとして取り込むことに成功しているといえる。

4人の露出の多い服を使用したファッションを比較したところ、着こなし方の工夫として、露出している部分に目立った体毛が見られない点、細身の体を活かしている点が共通して見られた。全員の共通したファッションアイテムとして見られた膝上のパンツは、一般的な男性が着用した場合、体毛や筋肉質の脚から男性性が強いというイメージを持たれることが多い。それに対し、彼らは皆細身の体をしているうえ、スキンケアや体毛の処理にも気を配っているため、膝上のパンツを着用したとしても強い男性性が表れることはないのである。シースルーシャツや胸元の開いた服、お腹を出した服といった露出の多い服は、女性性が強いイメージがあるために一般的な男性が着用した場合、異性装者のようにかえって自身の男性性が強調されてしまいがちである。しかし、彼らは中性的な見た目と細身の体に加え、美容に強い関心を持ち、普段からナチュラルなメイクをしているため、女性性の強い服もジェンダーレスファッションとして成り立たせることに成功しているのである。

第3節 ジェンダーレス男子のメイクとファッションの工夫

小川（2017）は、女性性の強いファッションアイテムや装い方の例に、「スカート、胸元の開いた服、ウエストを絞った服、露出の多い服、ハイヒールパンプス、濃いメイク、華奢なアクセサリ」を挙げており、ジェンダーレス男子はこういったアイテムを身につけない上、メイクはしていたとしてもかなり薄めであることから、コーディネートでは過度に女性的になることを避けていると述べている。

しかし、調査対象者4人のInstagramとYouTubeを調査したところ、女装ではなく私服としてスカートやお腹、脚を露出した服を着用した写真が見られた。彼らが、こうした女性性の強い服を着用していても過度に女性らしくなっていないのは、着こなし方や体型を工夫していることだけではなく、女性性の強い服に合わせてメイクの濃さを調整していることも理由の一つであると考えられる。小川（2017）ではジェンダーレス男子のメイクの仕方について詳しい説明がなされていなかったが、ゆうたろうを除く調査対象者3人のYouTubeを調査したところ、普段のメイクと女装メイクを比較した結果、彼らは普段のメイクをする際、女性がするようなメイクを意識してメイクをしているわけではないため、工程や使用する道具が普段のメイクと女装メイクとで大きく異なっていることがわかった。このことから、ジェンダーレス男子は女性性の強いアイテムを身につける際、男性性が強く残っているとうまく着こなすことができないため、ナチュラルメイクをして男性性をいくらか打ち消すことで、女性服をジェンダーレスファッションとして着こなすことができているのだと考えられる。

第5章 ジェンダーレス男子と「かわいい」

第4章において、ジェンダーレス男子のメイクとファッションについてそれぞれ調査を行った。その過程において、彼らの YouTube や Instagram のコメント欄に寄せられたコメントにも注目した際、非常にたくさんの「かわいい」という表現を含むコメントが見られることがわかった。もちろん、「かわいい」のほかにも「かっこいい」や「綺麗」といった彼らの容姿に対する表現は数多く見られたが、それらの中でも「かわいい」の数は圧倒的である。「かわいい」は主に女性に対して使用されるイメージが強く、女性服をも着こなし日常的にメイクをするジェンダーレス男子が「かわいい」という表現を集めるのも、決して不思議なことではない。しかし、彼らの Instagram の投稿の中には、女性性の強い服を着ているわけでもなく、女性性を感じられるようなメイクや髪型をしているわけでもないのに、多くの「かわいい」というコメントを集めている投稿も見られる。このことから、「かわいい」という表現には、ジェンダー的な要素だけでは片付けることのできない複雑性があるのではないかと考えられる。そして、その複雑性を理解することは、彼ら自身が人々からどのような存在として見られているのか、明らかにすることにつながるのではないだろうか。

そこで、この章では「かわいい」という言葉の持つ意味や使われ方に注目し、彼らがなぜこれほどまでに「かわいい」という表現を集めているのか、また彼らのどういった部分に「かわいい」という表現が使用されているのか、「かわいい」に関する先行研究と彼らの Instagram の投稿内容とを照らし合わせることで明らかにする。

第1節 「かわいい」に関する先行研究

ここでは、「かわいい」の持つ意味や使われ方に関する先行研究を複数取り上げ、「かわいい」という表現について深く掘り下げていく。

第1項 「かわいい」の持つ意味

山根 (1986) は、変体少女文字の研究を通じて『『かわいい』は、きれいだ、面白い、美しい、素敵だ、素晴らしい、見事だ、楽しい、やさしい、といった多くの意味に使われている」(山根 1986 : 212) とし、「かわいい」の持つ多様な意味について述べている。また、山根は本来の日本語が示す「かわいい」の意味について触れ、『『かわいい』は一般に、仔猫や仔犬などの小動物、赤ん坊や幼児など自立できない者に対しての、好感、愛らしさの形容として使われてきた。それらの対象に共通しているのは、『弱者でありながら、姿かたちがきれい』ということである。』(山根 1986 : 213) と述べている。そのうえで、『『かわいい』はきれいな姿かたちを備えた弱者を受容する言葉である』とし、「そのような弱者にいとおいさを認め、それを容認するのが、『かわいい』である。『かわいい』ものは安全なのである。『かわいい』ものは、自分よりも弱い。楽々と自分にとりこめる見こみがある。」(山根 1986 : 214) と述べている。

島村（1991）は、ファンシー（同書では「かわいい」と同義）の研究を通じて、ファンシーの四大要素は、小さい、白っぽい（パステルカラーを含む）、丸い（丸みをおびた）、やわらかい（ふわふわした）であり、私たちが「かわいい」と感じるものにはこの四つのうちのどれかの要素が必ず当てはまっているとしたうえで、ひとつでも多くの形容詞を併せ持っていればさらに〈ファンシー〉係数が高まるとしている（島村 1991：199）。

これに対し、宮台・石原・大塚（1993）は、島村の定義は雑にすぎるとして、少女文化の歴史的分析を行ったうえで少女のコミュニケーションを分析し、島村のいうような属性を含むもののなかにも、『人にやさしい』ことを追求した結果としての丸さや白さ、軽さ、皮膚感覚に沿ったソフト化やライト化」などの①人間工学的、自分の周りの部屋や街並み、小物などをロマンチックなものとして見る「自分と世界のロマン化」といった②ロマンチック、「愛らしさや無邪気さや明るさ活発さ、無垢など、個々のモノやコトについてのある種の『子どもの』属性である」③キュートの 3 つの傾向を区別しなければならないとしている（宮台・石原・大塚 1993：36-37）。

以上の研究から、「かわいい」には複数の意味があること、「かわいい」とされるものには必ずある要素が含まれているということがわかった。この「かわいい」を構成する要素に関して、山根の研究からは「弱者」と「安全」といった要素が見られ、宮台・石原・大塚の研究からは①人間工学的から「安全」、②ロマンチックから「少女」、③キュートから「子ども」といった要素が見られた。これらのことから、「かわいい」には「弱者」「安全」「少女」「子ども」の 4 つの傾向があるといえる。また、この 4 つに注目すると「少女」のみがジェンダー的要素であるのに対し、残りの「弱者」「安全」「子ども」の 3 つは非ジェンダー的要素であることがわかる。つまり、「かわいい」にはジェンダー的要素と非ジェンダー的要素の大きく分けて 2 つの傾向があると考えられる。

そこで、次項からはこの 2 つの傾向に注目していくが、「弱者」と「安全」の 2 つに関しては、上記の山根の引用文よりどちらも「子ども」に含まれる要素であることから、独立した要素として調査することが難しいと考えられるため、本研究では「少女的なかわいい」と「子どものかわいい」をそれぞれジェンダー的要素と非ジェンダー的要素として扱い、この 2 つに関する先行研究を挙げながら、それぞれの「かわいい」が持つ意味と使われ方の違いについて検討していくこととする。

第 2 項 少女的な「かわいい」

少女による「かわいい」モードをまとめた古賀（2009）は、『かわいい』は未成熟を嗜好する美意識である」、「『かわいい』モードは装飾（デコ）志向である」、「『かわいい』は女の子のための特別な価値観（エクスクルーシブ）である」、「『かわいい』は日本の高度消費文化の象徴的構造物である」、「『かわいい』はリスペクトのないフラットな価値観である」と多面的に「かわいい」を定義づけている。また、その上で「かわいい」は『究極の個人主義的価値観』を背景とする少女趣味的（幼さ）嗜好」、「過剰なまでの装飾スタイル」とも述

べている（古賀 2009：203、204、206、207、210、215）。

さらに、古賀はファッション誌を例にしながら、『『私たちがわかる』という共感性の強い同性間コミュニケーションとしての『CUTiE』の『かわいい』と、異性に『私のかわいさをわかってもらいたい』というコミュニケーション手段としての『CanCam』の『かわいい』。ファッション誌が形成してきた『かわいい』という言説のイメージは、その読者が誰なのか、そして誰に自分の価値観（かわいさ）をわかってもらいたいかによって大きく二分されていた。その異質の要素を包含したものが、現在の広く受容されている『かわいい』イメージなのである」（古賀 2009：136-137）とも述べている。

また、工藤（2015）は『装苑』（2010年8月号）から「少女たちが『かわいい』という言葉を使うのは、なにか内実があることをいいたいわけではなく、『自分はこれをいいと思う』という態度表明としてである。実際に何がかawaiiかはそれほど問題ではない。それは『何かをいいと思う自分が好き』という自己肯定のマニフェストだからである」（文化服装学院出版部 2010：57）と引用し、いまや「かわいい」は同性・異性・自分という三方向を包摂して用いられる便利な言葉となっていると述べている（工藤 2015：46）。

以上の研究から、「かわいい」という表現は単なる形容詞としての意味を持つだけでなく、状況によっては相手に共感する・共感してもらうといったコミュニケーションとしての役割や、態度表明・自己肯定といった自分自身の周囲に対するアピールの手段としても使用されていることがわかる。

第3項 子どものな「かわいい」

工藤（2015）は、島村（1991）から「まず、私たちの多くは『小さい』に対して『かわいい！』と反応する場合がいちばん多いと思う」（島村 1991：200）と引用し、「人間において『小さい』といえば『子ども』である。子どもに関する『かわいい』は、おそらくもっとも基本的な『かわいい』であろう。まずもって、無垢という意味での子どもそのもの、つたなく未完成なそのしぐさは誰が見てもかわいいと感じる。また、子どもが好むもの、子どもにまつわるものもかわいいといわれる。これは、幼さ、やわらかさ、愛らしさ、小ささ、そしてさらにいえば、はかなさ、弱さ、もろさ、などが呼び起こす感性である」と述べている（工藤 2015：38-39）。

以上の研究から、子どものな「かわいい」は子どもや子どものようなかわいらしさを持つ人に対して使用されるだけでなく、子どものな要素を持ったものや子どもらしさを彷彿とさせるようなものに対しても使用されていることがわかる。

第4項 「かわいい」の複雑性

工藤（2015）は、「少女的」と「子どものな」の2つの「かわいい」について検討した結果、「かわいいは『おんな（少女）』や『子ども』に親和的ではあるものの、今やなににでも使える言葉になっており、『おとこおとな』を含むかなり広い範囲をカバーする言葉になって

いると考えることができる。何度も繰り返すが、ほとんど『なんでもかわいい』のである」（工藤 2015：49）と述べている。しかし、「なんでもかわいい」と言いながらも、伝統、権威、力強さ、押しつけがましさなどはかわいくないとしている（工藤 2015：51）。

このように、今や「かわいい」は性別や年齢に関係なく誰にでも使われる言葉であり、状況や対象となるものが持つ要素によって、「かわいい」の持つ意味や使われ方は多様に変化する。また、「かわいい」はただ対象を形容するために使用されるだけでなく、共感性を重要視したコミュニケーション手段として使用される場合や、何が「かわいい」のかを問題とせずに態度表明や自己肯定として使用される場合もある。つまり、「かわいい」がどういった意図でどういう部分に対して使用されているのかを本人以外が客観的に判別するのは、状況によってかなり難しく複雑な行為になってしまうのではないかといえる。

そのため、次節では上記の先行研究内で述べられている「かわいい」の判断基準を参考に、「かわいい」という言葉が調査対象者らのどういった部分に向けられているのか慎重に検討し、随時先行研究の内容と照らし合わせながら、彼らの Instagram の投稿を分析する。

第2節 「かわいい」ジェンダーレス男子

第1項 分析方法

調査対象者である4人の Instagram を調査開始日（2022年3月29日）から遡り、各自の投稿のうち「本人の姿または体の一部が写っている」かつ「コメントが寄せられている」それぞれ直近の40件の投稿を分析の対象とする。投稿に寄せられたコメントの中から「かわいい」「かっこいい」「きれい(美しい)」等の本人の容姿やファッションに対する表現が含まれるコメントに注目し、「かわいい」が集まる投稿にはどのような特徴や傾向が見られるのか、その「かわいい」はどのような意味でどういった使われ方をされているのか等、コメント欄という客観的な視点を利用することで明らかにする。

第2項 「天使」「赤ちゃん」という表現と「かわいい」

こんどうようぢとゆうたろうの投稿において、共通してコメント欄に「かわいい」とともに「天使」や「赤ちゃん」といった表現が寄せられている投稿が見られた。

まず、こんどうようぢの投稿（図5-1）に注目すると、カンカン帽にオレンジと白のチェック柄のシャツを着用し、口を開けて手で大きな牡蠣を持っている。本文には

わんぱく坊や(28歳独身)



図5-1 こんどうようぢ

とあり、自分自身で「坊や」と名乗っているように、ポーズや表情からは幼さが感じられ、「わんぱく」という表現からも少年のようなかわいらしさが感じられる。コメント欄には

めちゃくちゃ可愛い😊28歳には見えないよお～👍

28歳には見えないよー

わんぱくなようちくんも大好きです💕

(2021/8/24 のこんどうようちの投稿へのコメント)

など、彼の若さに言及したコメントが多く見られた。また、彼の容姿に対して

どこからこんな天使がっ😇!?

養いたい~~~~! 😊💕

あかちゃんだ😇

カンカン帽子すごく似合ってます😍👍💕 ようちくんやっぱり最高すぎます😍💕

(天使ようちくん😇💕) そして、帽子とチェック柄シャツの組み合わせがかわいいですね! 子供の頃の夏休みが連想されます🍉☀️

(2021/8/24 のこんどうようちの投稿へのコメント)

など、「天使」や「赤ちゃん」という言葉で表現するコメントも複数見られた。天使と赤ちゃんは、その容姿からどちらも島村(1991)のファンシーの四大要素である「小さい、白っぽい(パステルカラーを含む)、丸い(丸みをおびた)、やわらかい(ふわふわした)」を持った存在であるといえるため、これらのコメントは彼のかawaiiらしさを天使と赤ちゃんに例えて表現したものであるとわかる。また、上記の3つ目のコメントの、彼の服装を「かわいい」と表現したうえで「子供の頃の夏休み」という例えが見られる部分は、宮台ら(1993)の3つの「かわいい」のうちのキュート、つまり「愛らしさや無邪気さや明るさ活発さ、無垢など、個々のモノやコトについてのある種の『子どもの的』属性」にあたるといえる。

次に、ゆうたろうの投稿(図5-2)に注目すると、白い服を着用し、パーマのかかった黒髪を指でつまんで舌を出している。本文は

🍷🍷😊🍷🍷 (🍷の部分空欄)

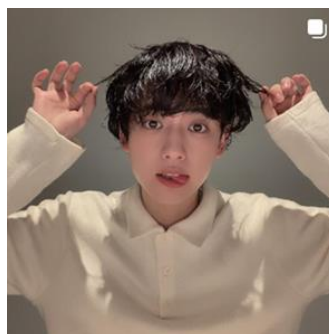


図5-2 ゆうたろうの投稿のサムネイル

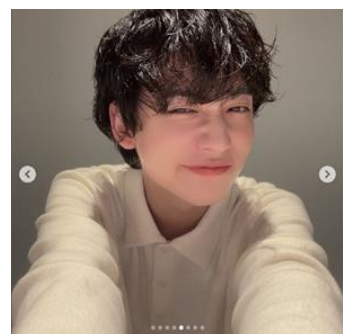


図5-3 ゆうたろうの投稿内の5枚目の写真

と絵文字のみになっており、このサムネイルのほかにも 6 枚の自撮り写真と自撮り動画をこの投稿内に掲載している。本文から自分自身を赤ちゃんのように見せているのだと感じられ、コメント欄には

赤ちゃんみたいでかわいい～💕

クシャって笑うのまじでかわいすぎる💕💕
最強の赤ちゃんだな……………！

(2021/9/24 のゆうたろうの投稿へのコメント)

など、彼のかわいらしさを「赤ちゃん」に例えるコメントが複数見られた。また、ほかにも

全部可愛いけど特に 8 個目の動画が天使すぎて可愛すぎる💕💕💕

(2021/9/24 のゆうたろうの投稿へのコメント)

といった彼のかわいらしさを「天使」に例えるコメントも見られた。島村（1991）のファンシーの四大要素を踏まえて彼の容姿を見てみると、「白っぽい」は服、「丸い」はパーマのかかった髪型、「やわらかい」は服の素材と髪の方々に当てはまっていると推測できる。また、図 5－2 のポーズからは無邪気さが感じられ、宮台ら（1993）が述べている「愛らしさや無邪気さや明るさ活発さ等の『子どもの的』属性」に当てはまっているといえる。

こんどうようぢとゆうたろうの 2 人の投稿に共通して見られた「天使」と「赤ちゃん」という表現は、どちらも山根（1986）の『『かわいい』は一般に、仔猫や仔犬などの小動物、赤ん坊や幼児など自立できない者に対しての、好感、愛らしさの形容として使われてきた。それらの対象に共通しているのは、『弱者でありながら、姿かたちがきれい』ということである。』という「かわいい」の意味・使われ方に当てはまり、本来一般的な男性に対して使用されることは非常に少ない表現である。しかし、彼らは自分自身を子どもや赤ちゃんに例えて発信していることに加え、その発言・写真が周囲の人々に「かわいい」と受け入れられている。これは、彼らが人々から子どもの的な「かわいい」という要素を持った存在であると認識されていること、また、子どもらしい一面を見せたとしても違和感や不快感を持たせない存在であるということを示している。

第 3 項 髪型と「かわいい」

とまんとりゆうちえるの投稿において、共通して一つ前の投稿と比較して髪を短くカット・カラーしたことを報告する投稿が見られた。

まず、とまんの髪型の変化に注目すると、前回の投稿（図5－4）よりも新しい投稿（図5－5）のほうが襟足の部分が短くなり、髪色も黄色とオレンジに変わってパーマもかかっている。新しい投稿の本文には

伸ばし続けた髪におさらばして2億年
振りくらいに

short hair とまんカムバです



とあり、自身にとって久しぶりのショートヘアをアピールしている。コメント欄には

短いのかっこいい😍

とまんちゃやっぱ!!! ショート似合うのかっこいい🚀❤️❤️❤️❤️

とてもよく似合っています!! カラーリングもかっこいいです~~~🔥❤️イケメンです!
(2021/7/7 のとまんの投稿へのコメント)

など、「ショートがかっこいい」と賞賛するコメントが多く見られ、髪色に注目するコメントも一部見られた。「かっこいい」を含むコメント数も、変化後（図5－5）のほうが変化前（図5－4）を上回っていた。また、この投稿には「かわいい」というコメントも以下の通り複数寄せられていた。

めちゃくちゃ似合う😍可愛い😍❤️

めちゃくちゃ可愛いし、かっこいい…🔥

ねえ、わたしずっと長年思ってるんだけどとまんくんの髪型が1番好き。
何してもかっこいいしかわいいし大好きなんだけど短いのが好き、とりあえず好き。

(2021/7/7 のとまんの投稿へのコメント)

どういった部分がかっこいいかまで言及されたコメントは見られなかったが、山根（1986）の『『かわいい』は、きれいだ、面白い、美しい、素敵だ、素晴らしい、見事だ、楽しい、やさしい、といった多くの意味に使われている』や、『装苑』（2010年8月号）の「自分はこのをいいと思う」という態度表明としての「かわいい」に通じる部分があるのでは

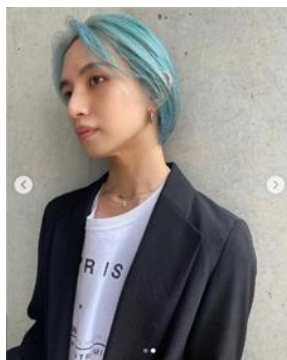


図5－4 とまんの変化
前の髪型



図5－5 とまんの変化
後の髪型

ないだろうか。特に3つ目のコメントの「何してもかっこいいしかわいいし大好き」という文章からは、「かっこいい」と「かわいい」という2つの表現を使うことで、「素晴らしい」といったような彼に対する最大限の賞賛を意味しているように感じられる。

次に、りゅうちえるの髪型の変化に注目すると、前回の投稿（図5－6）では髪が肩まで伸びていたのに対し、新しい投稿（図5－7）では前髪を切りそろえたマッシュヘアに変化している。また、変化後の投稿（図5－7）の本文には

💬 😊 ✂️ ❤️ ⚡

とあり、絵文字と前回の投稿との写真の違いから、髪を切って黒く染めたことが確認できる。まるで地毛のような黒髪に切りそろえた前髪、丸みのある髪型からは少年のような幼い雰囲気を感じられる。これらの要素は、宮台ら（1993）の「愛らしさや無邪気さや明るさ活発さ、無垢など、個々のモノやコトについてのある種の『子どもの』属性」や、工藤（2015）の「幼さ、やわらかさ、愛らしさ、小ささ、そしてさらにいえば、はかなさ、弱さ、もろさ、などが呼び起こす感性である」といった子どもの「かわいい」に通じるものがあるように感じられる。実際、コメント欄には

可愛いー❤️なんか美少年みたい❤️若い！

子供時代のハウルみたいです…！可愛い綺麗…⚡

かわいい！！！！❤️ 高校生でも全然イケちゃいそう！😊⚡

（2022/2/23 のりゅうちえるの投稿へのコメント）

といった、彼の髪型に対して幼さや少年らしさを感じているコメントが多く見られ、中には

最近息子もマッシュにしました！

可愛いですねー！

息子にこの髪型させます✂️



図5－6 りゅうちえる
の変化前の髪型



図5－7 りゅうちえる
の変化後の髪型

（2022/2/23 のりゅうちえるの投稿へのコメント）

など、「息子や甥っ子と同じ、真似させたい」といったコメントも多く見られた。一方で、

変化前の投稿（図5－6）のコメント欄にも多くの「かわいい」という表現が見られた。本文は

今日もテーマは "トレンドィー"

となっており、一昔前のファッションを感じさせるようなファッションと髪型で写っている。髪が長くポーズもかわいらしいことに加え、髪型とともにファッションもアピールしているように見える。コメント欄には

全くりゅうちえるさんと気がつかず、この方は誰だろうとっていて、しかも女性と試みていました！

時計、ジャケット、もちろんりゅうちえるも！かわいい🥺💕

かわいー！！！！ジャケットに目がいったけど、よく見たら下まつ毛もトレンドィーなのか🥺💕かわい！！！！！！

大人可愛い🥺🥺🥺

(2022/2/12 のりゅうちえるの投稿へのコメント)

などといったコメントが寄せられ、彼のファッションやメイクに注目して、おしゃれ・素敵という文脈で「かわいい」という言葉を使用しているであろうコメントが見られた。このように、ファッションやメイク等の装いに対して女性からの「かわいい」が集まっていることから、ここで使用されている「かわいい」は、『装苑』（2010年8月号）の「自分はこれをいいと思う」という態度表明としての「かわいい」であるように感じられる。また、彼のかわいさを「女子」と比較したものや「女性だと思った」というコメントが見られたり、「大人可愛い」という言葉が使用されたりしていた。この「女」と「大人」という2つの単語は、変化後の投稿（図5－7）ではどのコメントにも含まれておらず、変化前の投稿（図5－6）のコメント欄には、変化後の投稿にあった「子ども」「少年」「若い」といったことを意味する単語は一切含まれていなかった。また、りゅうちえるは前回よりも髪を短くしたにもかかわらず、変化後のコメント欄には変化前を大きく上回る数の「かわいい」という表現が見られたのも特徴的であった。

とまんとりゅうちえるの髪型の変化に対するコメント欄の反応を比較したところ、とまんは前回よりも髪を短くしたことに對して「かっこいい」を含むコメント数が増加していたのに対し、りゅうちえるは前回よりも髪を短くしたにもかかわらず「かわいい」を含むコメント数が増加していた。この違いが生まれた理由として、変化後のりゅうちえるの髪型が

「子どものなかわいい」に当てはまるものであったということがいえる。変化後のりゅうちえるのコメント欄には、「かわいい」という表現とともに「子ども」「少年」「若い」といった単語を使用して彼を表現するコメントが数多く見られた。これは、彼が周囲の人々から「子どもように愛らしい存在である」と思われているということを指している。

第3節 なぜジェンダーレス男子は「かわいい」のか

ジェンダーレス男子は、一般の男性とは異なり女性服をも着こなしメイクもするという点から、「かわいい」と表現されている場面において、一見その「かわいい」は女性らしいという意味で認識されているように感じられる。しかし、本調査からジェンダーレス男子は、「まるで女の子みたいにかわいい」といった女性性が感じられるという意味での

「少女的なかわいい」だけでなく、時には「子どものなかわいい」という要素を発揮することもあり、彼らのファンをはじめとする周囲の人々はそのような彼らを受け入れていることが明らかになった。つまり、人々は彼らジェンダーレス男子のことを単なるジェンダーという枠組だけではなく、幼い・大人っぽいといった年齢という枠組みでも見ているのだといえる。また、彼らは少女的と子どもの的の2つの「かわいい」だけでなく、「受け手側の態度表明としてのかわいい」、「賞賛という意味でのかわいい」など、状況や本人の装いなどといった条件に応じて多様な意味・使われ方で「かわいい」という表現を集めているということも、今回の調査で明らかになった。

それではなぜ、彼らはこれほどまでに様々な角度からの「かわいい」を集めているのだろうか。その理由は、ジェンダーレスという彼らの一番の特徴に関係していると考えられる。彼らは、性別という概念にとらわれずに自身の好きなファッションを女性服であろうが男性服であろうが楽しみ、自身をより魅力的に見せるために美容やメイクにも強いこだわりを持っている。また、時にはコスプレや女装をしている姿を見せるなど、装いに関して何でもありな人々といえる。「ジェンダーレス男子」という呼称は彼らが自ら名乗り始めたのではなく、彼らを見た人々が名付けたものである。つまり、彼ら自身はただただ自分の好きな装いを楽しんでいるだけで、結果として「自由＝性別がない」という印象を持たれ、ジェンダーレスという表現に落ち着いたのではないだろうか。そのため、彼らは一般的な男性よりも自身を表現することのできる幅が広いがために、あるときは子どもらしく、あるときは女性らしくなったとしても、人々にとって受け入れることのできる違和感のない存在であるため、多様な意味での「かわいい」を集めているのではないかと考えられる。

また、彼らは少女的と子どもの両方の「かわいい」を周囲から向けられることに対して抵抗するような様子は今回の調査では見られず、むしろ Instagram の投稿の本文に自ら「坊や」という言葉や赤ちゃんの絵文字を使った投稿や、本文を絵文字のみにした投稿が見られたことから、周囲の人々が様々な「かわいい」を持つ彼らを受け入れているだけでなく、本人たちも同様に周囲からの幅広い「かわいい」という評価を積極的に受け入れて

いるのだといえる。これは、「少女的な『かわいい』」に含まれる「かわいい」の一つである、共感性やコミュニケーションの手段としての「かわいい」と、自己肯定という意味での「かわいい」に当てはまると考えられる。つまり、ジェンダーレス男子は、『『かわいい』自分はいいと思う』という自己肯定的なファッションやメイク等の発信をするだけでなく、周囲の人々と「かわいい」という価値観を共有してコミュニケーションをとることで、周囲から「かわいい」存在として認識されているのではないだろうか。このことも、彼らが「かわいい」とされる理由の一つなのかもしれない。

第6章 考察

第1節 ジェンダーレス男子のジェンダー意識

本研究では、小川（2017）で研究対象となっているジェンダーレス男子のファッションの調査に加え、小川（2017）において詳しく掘り下げられていないメイクの調査もあわせて行った。その結果、ジェンダーレス男子は、細身の体を利用したりメイクや着こなし方で工夫したりすることで、スカートや露出の多い服といった女性性の強い服をも着こなし、自身のファッションとして成り立たせることに成功していることが明らかになった。

小川（2017）は、ジェンダーレス男子の特徴として一見ではかなり女性らしい感じを受けるが男性であることがすぐわかることを挙げ、その理由として彼らがコーディネートでは過度に女性的になることを意識的に避けているということを挙げている。また、ジェンダーレス男子の装い方について、彼らはジェンダーを意識していないように見えて実は男女の二項対立としてのジェンダー規範からは逸脱していないとし、コーディネートのすべてを女性もので着ることはないという点が、彼らがジェンダーに囚われている証拠であると述べている。

まず、ジェンダーレス男子のメイクを調査した結果、普段のメイクと女装メイクで見た目や使用する道具に大きな違いが見られたことや、女性を意識したメイクに対して戸惑う場面や時間をかけている様子が見られたことから、彼らは普段から女性性を意識してメイクをしているのではなく、あくまで自分自身を魅力的に見せるためのナチュラルメイクをしているのだということがわかった。このことから、彼らはメイクにおいては女性的になることを意識的に避けているような様子は見られないといえる。それに対し、ファッションの調査では、彼らはスカートを使用したファッションにおいては、脚の露出の少ない丈の長いスカートに体のシルエットがわかりにくいゆったりとしたトップスを合わせていたことから、過度に女性的になることを意識的に避けているような様子が見られた。しかし、露出の多い服を使用したファッションにおいては、露出している部分の体毛の処理や細身の体の維持といった美容面に気を配っている様子が窺えたことから、スカートを使用したファッションとは反対に、男性的になることを意識的に避けているような様子が見られた。

これらのことから、ジェンダーレス男子はメイクに関してはジェンダー意識は特に持っていないが、ファッションに関してはジェンダー意識を強く持っており、過度に女性的になることを避けるというよりは、使用するアイテムによって女性性と男性性の両方の出し方・抑え方をかなり慎重に吟味することで、ジェンダーレスファッションを成立させているのだと考えられる。彼らは、女性服と男性服の両方を着こなすという特徴から一見ジェンダーを全く気にしていないように見えるが、実際は非常に強くジェンダーを意識しているため、女性服を着用したとしてもメイクや着こなし方を工夫することで、女装のような違和感が生まれないファッションを作り出しているのである。

第2節 ジェンダーレス男子と「かわいい」の関係

第1項 「かわいい」という価値観

ジェンダーレス男子に向けられている「かわいい」という表現について調査した結果、彼らは女性的という意味での「かわいい」だけでなく、子どもらしいという意味での「かわいい」や共感性・コミュニケーションの手段としての「かわいい」など、幅広い意味と使われ方で「かわいい」という表現を集めていることが明らかになった。彼らがこれほどまでに幅広い「かわいい」を集めている理由として、彼らは工夫した着こなし方や細身の体、美容への強い関心といった特徴から、一般的な男性よりも自身を表現することのできる幅が広いがために、あるときは子どもらしく、あるときは女性らしくなったとしても、人々にとって受け入れることのできる違和感のない存在であるということが考えられる。

しかし、上記の理由以外にもジェンダーレス男子が「かわいい」という表現を集めている理由があると考えられる。それは、彼ら自身が「かわいい」という価値観を大切にしているという可能性があるということである。実際、本調査の対象となった4人のInstagramの投稿のうち、とまん、ゆうたろう、りゅうちえるの3人の投稿の本文に、「かわいい」という表現を記載している投稿がいくつか見られた。とまんは、2021年4月11日のふわふわした素材のサンダルを履いた投稿において、「外で履くのもかわいいし贅沢して家で履いちゃうのも気分上がるのがUGG（UGGはサンダルのブランド名）」と本文に記載している。ゆうたろうは、2022年2月13日のバッグを使ったコーディネートを披露している投稿において、「このハンモックバッグをメインにスタイリング組みました。かわいかったなあ」と本文に記載している。りゅうちえるは、2020年11月10日の自撮りを載せた投稿において、「あなた目線では、わたしが可愛いくないとしても、わたし目線では、わたしはスーパー可愛いんだ。」と本文に記載している。こんどうようちの投稿にはこのような記載は見られなかったものの、第2節第2項において自身を「坊や」と表現している様子は、まるで周囲からの「かわいい」という反応を待っているかのように見える。

これらのことから、ジェンダーレス男子にはかわいいものに対する志向があり、「かわいい」という表現を向けられることに対して喜びを感じている部分があると考えられる。そうはいっても、一般的な男性の中にもかわいいものを志向する人は多く、実際にかawaiiものを私物として所有している人も多く存在する。しかし、彼らは一般的な男性と大きく異なり、自身が「かわいい」と感じたものを実際に身に着けたり、自身の思う「かわいい」をメイクやファッションで表現したりしている。女性性や子どものイメージが強いかわいいものを、一般的な男性が女装のような違和感を生まないように自身のファッションに落とし込むことは難しいことであると考えられる。それに対し、ジェンダーレス男子は体型やメイク・着こなしの工夫を生かして「かわいい」を自身のファッションに取り入れることができる。

つまり、ジェンダーレス男子が「かわいい」という表現を集めているのは、彼らにはもともとかわいいものに対する志向があるが、ただ単にそれらを所有するだけでなく実際に身に着け、表現し、発信するということにまで踏み込み、細身の体形やナチュラルメイク、

多様な着こなし方といった自身の武器を利用することで、「かわいい」を自身の見せ方に取り込むことに成功すると同時に、結果として周囲から「かわいい」という共感を得るまでの存在になったからだと考えられる。

第2項 「自分らしさ」と「ジェンダーレス男子」という呼称

本研究では、ジェンダーレス男子のメイク・ファッション、見られ方の研究とあわせて、小川(2017)の「ジェンダーレス男子は意図的に異性のジェンダーを獲得しようとしているのではなく、自分らしさという個性を表現するためにこのような装いを選んでいる」という文章における「自分らしさ」という言葉の曖昧さに注目し、ジェンダーレス男子の「自分らしさ」とは具体的にどのようなものなのか明らかにすることも課題としてきた。

今回、ジェンダーレス男子にまつわる様々な調査を行った結果、彼らの特徴として、女性服と男性服の両方を好んで着用することや、美容にこだわってメイクや脱毛をして細身の体でいることに加え、「女性や子どものイメージが強いかわいいものを志向し身につける」という特徴が見られた。本来、一般的な男性は女性服を魅力的だと思っても、ジェンダーのミスマッチが生じるため実際に着るといった行動に移すことはしない場合が多い。それに対し、ジェンダーレス男子は自分がいいと思ったものは女性服であろうが男性服であろうが工夫して着こなし、時にはコスプレや女装までも楽しんでいる。この「性別に囚われずに自分がしたい自由なファッションをする」という行動は、彼らの「かわいい」という価値観への強い関心がきっかけとなっているのではないだろうか。実際、前項において彼らは「かわいい」という表現を向けられることに対して抵抗がないどころか、むしろ喜びを感じているような様子が見られることが明らかになった。

つまり、彼らは自身の装いや見せ方に関して「かわいい」という価値観を一番に大切にしており、「かわいい」を求めてファッションを楽しんでいる様子が世間に広まった結果、女性的なかわいいや子どものかわいいといった多様な「かわいい」を集める存在となったのではないだろうか。これらのことから、ジェンダーレス男子の「自分らしさ」とは、「かわいいへの志向」なのではないかと考えられる。

また、ジェンダーレス男子の装い方の特徴として挙げた、「性別に囚われずに自分がしたい自由なファッションをする」の「性別に囚われない」という部分は、彼らの自由な装い方が性別という枠までも超えてしまっているために、彼らを見た周囲の人々が「性別を超えた」という言葉を大げさにとらえてしまった結果、付いてしまった表現であると考えている。

つまり、彼ら自身はただただ自分の好きな装いを楽しんでいるにもかかわらず、「自由＝性別がない」という印象を強く持たれてしまい、ジェンダーレスという表現に落ち着いたのではないだろうか。現に、「ジェンダーレス男子」という呼称は彼らが自ら名乗り始めたのではなく、彼らを見た人々が名付けたものである。そのため、彼らはジェンダーレス男子というよりは「幅広い自己表現の手段を持った男性」という言い方のほうがふさわしいのではないかと考えている。しかし、これではあまりにも語呂が悪く、対する「ジェンダーレス男

子」は非常にインパクトがありながらも簡潔な表現であるため、この世間に対する言葉としてのインパクトの強さも、彼らがジェンダーレスと呼ばれるようになった理由の一つなのかもしれない。

参考文献

- ・小川麻衣, 2017, 「ジェンダー表象としてのファッション : "ジェンダーレス男子" の事例分析」『ファッションビジネス学会論文誌』 22 : 57-65
- ・工藤保則, 2015, 『カワイイ社会・学 成熟の先をデザインする』 関西学院大学出版会
- ・古賀令子, 2009, 『「かわいい」の帝国』 青土社
- ・島村麻里, 1991, 『ファンシーの研究―「かわいい」がヒト、モノ、カネを支配する』 ネスコ
- ・宮台真司・石原英樹・大塚明子, 1993, 『サブカルチャー神話解体―少女・音楽・マンガ・性の 30 年とコミュニケーションの現在』 PARCO 出版局
- ・山根一眞, 1986, 『変体少女文字の研究―文字の向うに少女が見える』 講談社
- ・『装苑』 (2010 年 8 月号), 2010, 文化服装学院出版部

参考 URL

- ・モデルプレス, 2015, 「“ジェンダーレス男子”とまん『人と同じが嫌だった』 幼少期…上京から 1 年『世界を攻めていきたい』 目標を語る」
(<https://mdpr.jp/interview/detail/1494862> 2022 年 12 月 28 日取得)
- ・比嘉企画, 2021, 「ryuchell」 (<https://higakikaku.com/> 2022 年 12 月 28 日取得)
- ・ASOBISYSTEM, 2022, 「ゆうたろう」
(<https://asobisystem.com/talent/yutaro/> 2022 年 12 月 28 日取得)
- ・avex portal, 2016, 「『ジェンダーレス男子』と呼ばれる、原宿で人気の“こんどうようち”って!？」 (<https://avexnet.jp/column/detail.php?id=1000081> 2022 年 12 月 28 日取得)
- ・Weblio 辞書, 「『ジェンダーレス男子 (ジェンダーレスだんし)』の意味や使い方」
(<https://www.weblio.jp/content/%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BC%E3%83%AC%E3%82%B9%E7%94%B7%E5%AD%90> 2022 年 12 月 28 日取得)

〈動画〉

- ・こんどうようち, YouTube, 2021 年 1 月 7 日, 「2021 年もよろしくお願ひします毎日メイク。」 (https://youtu.be/_DpkGFFEGY4 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・こんどうようち, YouTube, 2018 年 7 月 13 日, 「【女装】女の子になってみた【ジェンダーレス男子】」 (<https://youtu.be/gNSAugshy18> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・とまん Toman, YouTube, 2020 年 8 月 7 日, 「【毎日メイク】メンズメイク歴 12 年とまんの最近のメイク紹介!」 (<https://youtu.be/hHn9YVmdt5c> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・とまん Toman, YouTube, 2020 年 10 月 21 日, 「【女装】セルフメイクで本領発揮【第二弾】」 (<https://youtu.be/0xSwozEqvgQ> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・RYUCHELL WORLD, YouTube, 2021 年 6 月 5 日, 「ナチュラル盛れ♡最近のオススメ

- 普段メイク」(<https://youtu.be/OdvSkTPFoNM> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・RYUCHELL WORLD, YouTube, 2021 年 3 月 1 日, 「本気女装してみたよん 🥰💃🌟🎵🌙」(<https://youtu.be/J8k6O9SI744> 2022 年 12 月 25 日取得)

図版出典、投稿内容・コメント欄の引用元

- ・図 4-1~3) こんどうようぢ, YouTube, 2021 年 1 月 7 日, 「2021 年もよろしくお願
いします毎日メイク。」(https://youtu.be/_DpkGFFEGY4 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・図 4-4~6) こんどうようぢ, YouTube, 2018 年 7 月 13 日, 「【女装】女の子になっ
てみた【ジェンダーレス男子】」(<https://youtu.be/gNSAugshy18> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・図 4-7~9) とまん Toman, YouTube, 2020 年 8 月 7 日, 「【毎日メイク】メンズメ
イク歴 12 年とまんの最近のメイク紹介!」(<https://youtu.be/hHn9YVmdt5c> 2022 年 12
月 25 日取得)
- ・図 4-10~12) とまん Toman, YouTube, 2020 年 10 月 21 日, 「【女装】セルフメ
イクで本領発揮【第二弾】」(<https://youtu.be/0xSwozEqvgQ> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・図 4-13~15) RYUCHELL WORLD, YouTube, 2021 年 6 月 5 日, 「ナチュラル盛
れ♡最近のオススメ普段メイク」(<https://youtu.be/OdvSkTPFoNM> 2022 年 12 月 25 日
取得)
- ・図 4-16~18) RYUCHELL WORLD, YouTube, 2021 年 3 月 1 日, 「本気女装して
みたよん 🥰💃🌟🎵🌙」(<https://youtu.be/J8k6O9SI744> 2022 年 12 月 25 日取得)
- ・図 4-19) とまん / TOMAN, Instagram, 2022 年 8 月 13 日
(<https://www.instagram.com/p/ChMYri-PYU-/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-20) ゆうたろう, Instagram, 2021 年 12 月 20 日
(<https://www.instagram.com/p/CXtO0DqBE0Q/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-21) こんどうようぢ, Instagram, 2021 年 8 月 29 日
(<https://www.instagram.com/p/CTJ9SlpnoCl/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-22) とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 5 月 2 日
(<https://www.instagram.com/p/COXVa2-lopV/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-23) ゆうたろう, Instagram, 2022 年 2 月 13 日
(<https://www.instagram.com/p/CZ6hrKchgwA/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-24) ryuchell 🌸💖☆*. + 全てのド真ん中には愛がある *. + ♡❁, Instagram,
2021 年 10 月 29 日
(https://www.instagram.com/p/CVnP-vtP_ICISAIROdfuagGIEE6TS9yhzIgpzc0/ 2022
年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-25) こんどうようぢ, Instagram, 2022 年 9 月 3 日
(<https://www.instagram.com/p/CiCmunirx05/> 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・図 4-26) とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 10 月 6 日

- ・ [\(https://www.instagram.com/p/CUsCs9Ylkbh/](https://www.instagram.com/p/CUsCs9Ylkbh/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 4 - 2 7) とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 8 月 3 日
[\(https://www.instagram.com/p/CSGcYZqlBUg/](https://www.instagram.com/p/CSGcYZqlBUg/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 4 - 2 8) ryuchell 🍷❤️ ☆*. + 全てのド真ん中には愛がある *. + ♡❁, Instagram, 2022 年 10 月 16 日 (https://www.instagram.com/p/CjxzLzGrnhSO_6Cd1Jmop6A-4bXPuX71X931A00/ 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 5 - 1) こんどうようぢ, Instagram, 2021 年 8 月 24 日
[\(https://www.instagram.com/p/CS9M_GVHYy3/](https://www.instagram.com/p/CS9M_GVHYy3/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 5 - 2、3) ゆうたろう, Instagram, 2021 年 9 月 24 日
[\(https://www.instagram.com/p/CUM8WRdhqvd/](https://www.instagram.com/p/CUM8WRdhqvd/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 5 - 4) とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 6 月 16 日
[\(https://www.instagram.com/p/CQLYVglFwfl/](https://www.instagram.com/p/CQLYVglFwfl/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 5 - 5) とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 7 月 7 日
[\(https://www.instagram.com/p/CRBXefol0_1/](https://www.instagram.com/p/CRBXefol0_1/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ 図 5 - 6) ryuchell 🍷❤️ ☆*. + 全てのド真ん中には愛がある *. + ♡❁, Instagram, 2022 年 2 月 12 日 (現在は削除済み、2022 年 4 月 6 日取得)
- ・ 図 5 - 7) ryuchell 🍷❤️ ☆*. + 全てのド真ん中には愛がある *. + ♡❁, Instagram, 2022 年 2 月 23 日 (現在は削除済み、2022 年 4 月 6 日取得)

〈投稿文の引用〉

- ・ とまん / TOMAN, Instagram, 2021 年 4 月 11 日
[\(https://www.instagram.com/p/CNg66tel22H/](https://www.instagram.com/p/CNg66tel22H/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ ゆうたろう, Instagram, 2022 年 2 月 13 日
[\(https://www.instagram.com/p/CZ6hrKchgwA/](https://www.instagram.com/p/CZ6hrKchgwA/) 2022 年 12 月 21 日取得)
- ・ ryuchell 🍷❤️ ☆*. + 全てのド真ん中には愛がある *. + ♡❁, Instagram, 2020 年 11 月 10 日 (<https://www.instagram.com/p/CHZyPqKrAAIcNl5Aoi9os8ijnNPk9-0YDa9WYA0/> 2022 年 12 月 21 日取得)